

問題011 摂関政治と国風文化①②

●摂関政治

- 01 北家の藤原冬嗣の子〔 〕は、〔 〕の変〕を機に橘逸勢らの排斥に成功し、自分の妹の子を皇太子に立てた。
- 02 858年、文徳天皇が没し、幼少の〔 〕天皇〕が9歳で即位すると、藤原良房は事実上の〔 〕の地位に就いた。
- 03 良房の後継者の〔 〕は、清和天皇の子の陽成天皇の摂関だったが、陽成天皇は素行に問題があったため群臣と協議してこれを廃位し、55歳の〔 〕天皇〕を立てた。感謝した天皇は基経を事実上の〔 〕に任命した。
- 04 基経は、宇多天皇即位に際して生じた888年の〔 〕を機に関白の地位を確立した。
- 05 朝鮮半島では935年、新羅が滅んで〔 〕が興った。
- 06 後世、〔 〕天皇〕の親政は〔 〕の治、〔 〕天皇の親政は〔 〕の治〕と理想化されたが、実際は公地公民制と班田收授の限界が明らかにあらわになった時代であった。
- 07 醍醐天皇が清涼殿落雷事件後に亡くなった後は子の〔 〕天皇〕が即位したが、藤原忠平が摂関・関白を務め、地方では〔 〕の乱〕が起こった時代であった。
- 08 969年の〔 〕を機に、藤原北家の他氏排斥が完了して摂関の職は常置となり、藤原摂関家が確立した。
- 09 〔 〕は後一条・後朱雀・後冷泉の3天皇の外祖父となり、道長の子〔 〕は約50年にわたり関白の職にあって摂関政治の全盛期を築いた。
- 10 1019年、博多湾に侵入した女真族を、当時大宰府にいた藤原隆家が撃退した事件は〔 〕とよばれる。

●国風文化

- 01 10世紀以降の、中国文化を十分に消化し、その基礎の上に日本固有の感性を生かした文化を〔 〕とよぶ。万葉仮名の草書体を簡略化した〔 〕や、漢字の一部を用いる〔 〕などの表音文字が、繊細な感情の表現を可能にした。
- 02 ひらがなを用いた最初の勅撰和歌集は、905年に醍醐天皇の命で〔 〕らが中心になって編集した『 』である。
- 03 最初のかな物語は『 』で、最初の歌物語は『 』で、最初の日記文学は紀貫之の『 』で、紫式部の長編物語は『 』である。
- 04 随筆では清少納言の『 』、藤原道綱母の『 』、菅原孝標女の『 』が代表的である。
- 05 神を仏の仮の姿にとらえる説を〔 〕という。
- 06 平安時代、早良親王や菅原道真の怨霊を祀り災厄から逃れようとする〔 〕がさかんに催された。
- 07 10世紀以降、せめて来世での極楽往生を願う〔 〕教〕が発達した。
- 08 10世紀中ごろ、市聖とよばれた〔 〕が今日の市中で人々に念仏を勧めた。このように、特定の寺に属さず民間で布教を行う僧を〔 〕といった。
- 09 釈迦の死後500年間は理想的な仏法の世である〔 〕の世、その後1000年間は〔 〕の世、釈迦の死後1500年後からは、仏法が衰える〔 〕の世に入るとされる〔 〕思想〕が広まった。
- 10 極楽浄土への往生の助けになってくれると信じられた仏が〔 〕である。